



# うさぎだより

中野区議会議員●無所属

## 佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874  
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail: usagidayori@hotmail.com 編集発行:住民自治をすすめる政策研究会

後期高齢者医療制度が4月から始まりました。保険料が年金から天引きされ、負担が増えることや、説明も不十分で評判は良くありません。保険料を負担する若い世代の人口がどんどん少なくなる中、医療保険制度を続けるためには、何らかの負担増は避けられないと思います。

しかし、負担は公平なのか、必要な人の医療までが制限されるのではないかなど、見直すべき様々な問題点があります。ご意見をお寄せください。



### 後期高齢者医療制度でどうなるの？

#### 厚生労働省に問題点を指摘

自治体議員でつくる虹と緑政策研究会主催の厚生労働省保険局とのヒアリングで質問。

#### ◆年金の少ない女性等に不利

保険料は個人の負担になるのに、保険料の軽減は世帯単位で行われるので、自分の年金が少ないのに、家族の所得が多い場合は軽減はされない。医療機関窓口での支払い額も、世帯単位で1割か3割かが決まる。例えば、夫の所得が一定以上の場合

#### ◆必要な医療まで制限されるのではないか

4月に診療報酬や薬価の改定も行われ、後期高齢者診療に定額制が導入される。月1回6千円。厚生労働省は、定額制は選ぶことができる、手術とか大きな変化があれば、定額以上に加算できると説明するが、大きな変

は、妻の年金額は少ないのに、保険料は軽減されず、夫の窓口負担が3割の場合、妻の窓口負担も3割になる。保険料負担を個人にするのなら、軽減策も窓口負担も個人単位にするべきだ。

75才以上	3月まで老人保健制度	4月から後期高齢者医療制度
対象者	75才以上全員(一定の障害のある65才以上)	75才以上全員(一定の障害のある65才以上)
保険料の支払い先	区の国保や会社の保険組合等	区で徴収して東京都広域連合へ納める
支払い方法	口座振替・窓口支払い・源泉徴収等	年金から天引き(原則年18万円以上の人)
保険料	国保の場合 均等割36,900円(2008年度) (所得により軽減)+所得割	均等割 37,800円+所得割(計算の基礎が以前と異なる)(所得により軽減)
保険料の負担者	国保や会社の保険組合等の加入者。 ただし、会社の保険の被扶養者は、 保険料の負担がなかった。	75才以上全員(一定の障害のある65才以上) 今まで保険料負担がなかった人は、 2年間軽減される。(※注)
医療費の財源 (病院で払う負担金の他)	税金5割(国4:都1:区1) 各保険組合からの拠出金5割	税金5割(国4:都1:区1) 74才以下の人の保険料4割 75才以上の人の保険料1割
区の税金投入額	約17億円(2007年度予算)	約23億円(2008年度予算)

※新たに保険料を払う人への軽減策 (国保=国民健康保険の略)  
 \*会社の保険に入っている家族に扶養されていた75歳以上の人。9月までは負担なし。10月から来年3月まで均等割額の1割、その後1年間は均等割額の半額。  
 \*会社の保険に入っていた75歳以上の人に扶養されていた74歳以下の方は、国保に加入。2年間、保険料が半額。

化がない慢性疾患の場合は、定額の範囲内の医療に制限される心配がある。「高齢者担当医」の制度や終末期医療のあり方も、十分な医療を受けることができているのか問題が多い。

2008年第1回定例会 本会議質問

### 障がい者の就労支援を積極的に

#### 就労支援の組織を しつかり

**佐藤** 区就労支援の組織体制の強化や、就労支援ネットワークのさらなる充実が必要だ。どのように考えているのか。

**区長** 障がい者の雇用促進は最重要課題の一つだ。できる施策は積極的に実施する。組織的な対応についても取り組んでいく。就労支援ネットワークへの支援をさらに強める。

#### 就労支援センターを わかりやすく

**佐藤** 就労の継続のためには、金銭管理や人間関係づくりなど、社会生活を高めるための支援も欠かせない。滋賀県の「働き暮らし応援センター」に行ってきたが、就労と生活支援の一体的な相談ができ、わかりやすい名称だ。どう考えるのか。

**区長** 就労支援を委託している障害者福祉事業団は就労支援と生活支援を行っている。生活支援については他の仕組みも活用して充実させたい。区民に分かりやすい名称について事業団と

も相談する。

#### 区役所でチャレンジ雇用を

**佐藤** 雇用がなかなか進んでいない知的障がい者や視覚障がい者などの区役所でのチャレンジ雇用をすすめ、職員として採用していく考えはないか。

**区長** チャレンジ雇用が、区の中でどのように実現できるのか早急に検討する。

#### 障がい者雇用の創出を

**佐藤** 滋賀県の「社会的事業所」制度は、障がい者従業員が50%以上で、経営の意思決定にも障がい者従業員が参加しているなど、注目されている。県と市が給与などの補助金を出し支援している。都は二〇〇八年度、特例子会社の設立支援と中小企業への賃金助成を新規事業として計画している。区としてはどのように取り組むのか。

**区長** 雇用創出については政策研究機構で研究を行い、具体的な提案を示したい。都の事業については明らかに次第対応する。区としての特例子会社制

度の普及・活用方策も、早期に新たな方向性を確立する。

#### 福祉作業所へ 積極的に仕事の発注を

**佐藤** 作業生の工賃を増やすために、区が積極的に仕事を発注したり、企業などに働きかけた。作業所でできる仕事の発注をすすめるべきだ。

**区長** 就労支援ネットワークを通じて共同受注を増やしていくよう支援する。区の業務全体を総点検して、着実に障がい者の仕事が確保できるように、発注のルールや契約の仕組みなどを作っていく。その中で、福祉的な就労への発注を確保したい。

#### 緊急保育の支援を

**佐藤** 中野区社会福祉協議会が厚生労働省から委託を受け、育児と仕事の両立を支援するた



東中野に開園した「陽だまりの丘保育園」

め、病児の預かりや緊急の送迎など緊急保育サポート事業を実施している。緊急時の対応ができ、研修を受けた保育サポーター、看護婦資格を持つコーデイネーターの巡回訪問や、医師会との連携もある。利用会員数は180名を超え、「中野区で子育て

#### 予算特別委員会 総括質疑

### 住宅や街をバリアフリーに

年をとると、耳が遠くなったり、視力が弱くなったり、杖や車いすが必要になったり、記憶が不確かになったり、多くの人が障がいを経験する。区長は社会に障がいがあるのだと、いつも言っている。住宅や街がバリアフリー化されれば、障がい者が軽減される。

#### 福祉住宅条例の見直しを

**佐藤** 区の福祉住宅条例の申し込み資格者は、ひとり暮らしの高齢者または身体障がい者であるが、「ただし、身体上または精神上著しい障害があるために常時の介護を...受けることが困難であると認められる者を除く。」と書かれている。わかりにくい、どういう意味か。

てしてよかった」と大変好評で新聞にも紹介された。人材を維持し、実績も上がっている事業の継続と定着のために、区も連携・支援をすべきだ。

**区長** より安定した安心できる制度となるよう、区としても検討していきたい。

居は難しいという規定である。**佐藤** 例えば要介護3で介護サービスを受けて一人で暮らし込められた場合、入居の対象になるのか。

**課長** ある程度、自分で生活できる方が入居の前提になっているので、入居はむずかしい。

**佐藤** そういう方たちはどこで暮らせばいいのか。

**課長** 介護施設への入所をお勧めしているのが実情である。

**佐藤** 福祉住宅条例が作られた時は介護保険制度が始まる前で、介護サービスが十分受けられない時代だったが、現在は介護サービスを使って在宅で暮らしている人も多い。条例を見直す必要があるのではないか。

**課長** 委員ご指摘の通り、入居基準も含めて、今後見直しが必要だと考えている。

## これでバリアフリー化??



視覚障がい者用の誘導ブロックは、時計台の前でとぎれていて、区役所玄関前の誘導ブロックにつながっていない。



3月末、警察病院前の歩道と、中野駅とサンプラザの間の歩道で、黄色い誘導ブロックを線として貼る工事をしてきた。でも途中で途切れて、まだつながっていない。



歩道のバリアフリー化について質問した数日後に、区役所前の歩道に、(写真)のようなマークが貼られた。「バリアフリー歩道」と書かれている。



## 高齢者優良賃貸住宅の 入居基準も広げて

**佐藤** 中野区で初めての「高齢者向け優良賃貸住宅」が本町4丁目計画されているが、福祉住宅と似た基準で、障がい者は対象となっていない。今後は、障がい者や介護サービスを受けて在宅で暮らしている人も、入居の対象にするべきではないか。  
**課長** 介護を受けることで在宅での生活が可能な方については、今後入居の対象の検討が必要だ。

**佐藤** 建物の一部をグループホームや小規模多機能型介護施設運営事業者などに貸し出すことを、今後検討できないか。  
**課長** 今後区有地を貸し出すような場合、条件が整っていれば検討したい。

## バリアフリー住宅を

**佐藤** 自宅は改造できるけれど、賃貸住宅はなかなか改造できない。民間のバリアフリー住宅を増やす方策の検討が必要だ。

**課長** 民間賃貸住宅のバリアフリー化をすすめるように、いろいろな角度から検討していく。

## 歩道のバリアフリー化を

**佐藤** 歩道のバリアフリー化が中野では大変遅れている。予算はいくら計上されているのか。道路特定財源は使われているのか。  
**課長** 二〇〇八年度予算では、新中野地区のバリアフリー化に、2707万円を計上。都の補助金1200万円と、区的一般財源1507万円。道路特定財源から充当されていない。

**佐藤** 国の道路財源をもっとバリアフリー化のためにも使うべきだ。区のバリアフリー化の計画、目標数値は。  
**課長** 重点整備地区は東中野・落合、新中野、野方、鷺宮、中野の各駅周辺の5地区である。目標は2014年度。

**佐藤** 区議会棟の前の歩道を工事しているが。  
**課長** 中野駅から4月に開院する警察病院までをバリアフリー化している。

**佐藤** 歩道の角度を車いすの人のために一部平らにしたのはいいが、視覚障がい者の誘導ブロックが連続してつながっていない。弱視の人にも目立つ黄色にすることが原則なのに、

中野駅周辺の誘導ブロックはグレーもあり色がバラバラだ。中野駅から区役所まで無事に来るのはむずかしい。早急に整備するべきだ。

## 子ども達世代のために区財政をしつかり

少子化、人口減少社会の子ども達世代へ、過剰な負担を残さないことが、親世代の私たちの責任だ。起債という借金よりも、基金という貯金を残すようにすること、借金をしても早く返せる力をつけることも必要だ。

**佐藤** 「地方財政健全化法」が二〇〇九年度から施行される。自治体は毎年度、財政健全化を判断する指標を、議会と市民に公表することになる。新たな財政指標の考え方は。

**課長** 次の決算から公表する、4つの指標は、実質赤字比率と実質公債費比率、連結実質赤字比率、将来負担比率である。連結赤字比率は全ての特別会計まで広げた指標、将来負担比率は外郭団体まで連結し、職員の退職金なども入れた指標で、財政の健全化を計る体温計である。

**佐藤** 実質公債費比率は、借金の負担の重さを示す指標。数値が大きければ借金の返済割合が大きく、25%以上になるとイエローカード、35%以上になるとレッドカードで「財政再生団体」になる。夕張市は38.1%。中野

課長 今後警大跡地の開発と合わせて整備していきたい。

区は49%で全国的にも数値が小さく良い状態だ。しかし今後、学校再編にともなう施設整備費などで、二〇〇八年度は18億円、二〇〇九年度は136億円の起債が計画されている。比率を大きくしないように、どう取り組むのか。  
**課長** 計画的に起債額を管理して、比率の上昇を招かないようにする。

## 佐藤ひろこの収支報告

2008年1月~3月

	1月	2月	3月	期末手当
収入				
報酬	647,000	647,000	647,000	234,537
費用弁償	15,000	3,000	30,000	0
支				
税金	78,380	78,380	78,380	39,057
年金・保険	160,530	160,530	160,530	17,550
活動費	215,057	150,082	168,960	143,820
出				
積み立て	15,000	3,000	30,000	0
残	¥193,033	¥258,008	¥239,130	¥34,110

\*議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。本来ならなくすべきだ。区に返すことは法的にできないので積み立て、区外の団体に寄付をしている。

ホームページの日記から

http://homepage2.nifty.com/usagidayori/

陽川区はすいー！

1月29日



ソウル市陽川区を日韓友好促進中野区議会議員連盟の有志で訪問、友好を深めた。老人総合福祉館や障害者総合福祉館などを視察。老人総合福祉館には就業のための教育、認知症高齢者の時間保護セ

ンター、リハビリなど様々な機能がある。食堂では毎日昼食が提供され、低所得者は無料だそう。会館のシンボルマークは「うさぎ」。

2月8日

新「東京警察病院」の災害時の設備

警察大学跡地に新「東京警察病院」が4月1日にオープン。災害時等の重症患者の受け入れのために、壁面等に呼吸器などが取り付けられるコンセン

3月22日

障害者防災訓練



で、避難訓練を行った。私は障がい者とボランティアを結びつける連絡を行う本



トが収納されてる。100ベットの臨時に増やして対応することができそう。

3月29日

中野区の予算資料



など好評だった。私は説明に忙しかった。

部要員として参加。登録ボランティア募集。(写真右端が私)

2008年度予算で実現！  
\*障がいのある小・中学生の通学や学童クラブへの送迎(9月から、必要日数を自己負担なしで利用できる)  
\*障がい児・者の日中一時支援(日中、家族がいなくても安心して過ごせるように支援)  
\*障がい児通園施設アポロ園の送迎にリフトバスを増設  
\*妊婦健診の助成を5回から14回に増(里帰りも対象に)  
\*新しい母子生活支援施設を設計・建設(二〇一〇年開設)  
\*外国から来た子ども達への日本語通訳派遣時間数の増

佐藤ひろこの活動日誌から

- 1月
- 14 学習会「在日の障害者から人権を考える」
- 17 来年度予算内示
- 18 「DV防止法ができるまで」女性のスペース結講座
- 19 中野区医師会創立60周年記念式典/中野ハンディキャップ新年会
- 20 中野消防団始式/健康づくり講演会
- 21 厚生委員会
- 22 中野定住外国人問題を考える会(タッチの会)
- 23 中野区町会連合会新年のつどい
- 24 谷戸ほのぼのファミリー合唱団
- 25 区民の会お茶会/補正・復活予算内示
- 26 「災害時要援護者支援システムと人材」フォーラム
- 28~30 ソウル市陽川区訪問
- 31 堀江高齢者福祉センター演芸大会見学
- 2月
- 1 虹と緑政策研究会/中野区福祉団体連合会新年懇親会
- 2 野村生涯学習センター新年懇親会/障害者政策研究会実行委員会
- 3 さくら館もちつき大会
- 4 ももそのデイクラブ/虹と緑関東ブロック
- 5 東京都障害者自立支援協議会研修会
- 6 中野障害者福祉事業団の就労支援取材
- 7 朝・日友好親善中野林並新春の集い
- 11 障害者防災委員会
- 13 大田区の障害者就労支援を視察
- 15 本会議/障害者労働研究会
- 16 虹と緑全国研究集会 in 神戸
- 18 滋賀県の障害者就労支援を視察
- 19~21 本会議・佐藤ひろこ一般質問
- 22 予算特別委員会
- 23 障害者防災委員会サンダーバード小山剛氏講演会
- 26~29 予算特別委員会佐藤ひろこ総括質疑
- 3月
- 1・2 さくら館まつり
- 3~5 予算特別委員会厚生分科会
- 5 心身障害児総合医療療育センター(整肢療護園)見学
- 7 予算特別委員会
- 8 「廃プラスチックの焼却はリサイクル？」討論会
- 9 中野区ハイティーン会議発表会「いじめについて」
- 10 本会議
- 12~14 厚生委員会
- 16 中野1丁目防災講演会
- 17 防災まちづくり特別委員会
- 19 第9中学校卒業式/長妻昭・山井和則衆議院議員報告会
- 20 学習会「秘書から見た国会の内側」
- 21 本会議
- 22 障害者防災訓練
- 23 立川広域防災基地視察勉強会
- 24 谷戸小学校卒業式/学習会「社会主義と福祉政策」
- 25 東中野小学校から昭和小学校まで歩く
- 26 羊の会/中野2丁目もみじ山エリアまちづくり意見交換会
- 27 中野区中小企業退職金共済会理事会/中野の逸品グランプリ研修会「セーフティネットの危機と課題」
- 28 陽だまりの丘保育園見学/学習会「自立支援協議会って？」
- 29 市民と議員の条例づくり交流会議「予算改革はじめよう」
- 30 あすなろ保育園卒園式/夢のキッズミュージアム2008

学習会「医療と介護どうなるの？」

ケアマネさんと佐藤ひろこから報告します

7月12日(土)午前10~12時  
中野区男女共同参画センター 研修室  
(中野駅南口4分 勤労福祉会館2階)

● 傍聴してね! ●

◆ 次の議会は ◆

6月4日(水)~6月17日(火)  
陳情/切は5月26日(月)